

勅諭文行草習字

湯川吉之邦謹書

圖目

天

特42

237

071388-001-1

特42-237

勅諭文行草習字

湯川 梧窓/書

天

M15

CED-0991

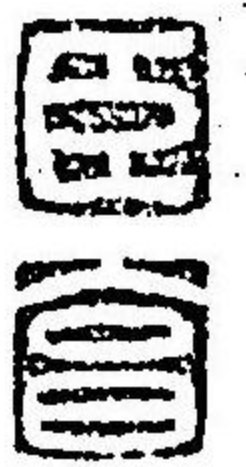


特42
237

勅諭

勅諭
天
習字

湯川吉右郎謹書



吉田廣文軒梓



特42
237

勅諭

勅諭
天
習字

湯川吉太郎謹書

吉田巖久許





勅諭文



家國の軍隊に
世々天皇の統
率し給ふ所不

そ
河
家
昔
神
武
天
皇
躬
つ
り
と
大
伴
物
部
の
兵
と
も
を
率
ゐ
中

國
の
ま
つ
ろ
を
奴
ま
の
と
も
を
討
ち
平
る
給
ひ
高
御
産
不
即
の

世とれ天下
志乃し如し給
いしよわ二子
五百者餘年を

経ぬ此潤世の
様の移り換ふ
不随ひ下共制
の治革と六慶

昔々如古元天
皇躬一のら軍
隊を率以給ふ
時河

め了て皇后皇
太子の代ら世
給ふこととあ
りれと大凡

其權を臣下に
委ね給ふこと
て否らぬ中
世に至りて文

武の制度皆唐
國風に倣はせ
給ひ六衛府を
置き左右馬寮

在遠天防人者
と設るはれし
可て兵制を整
正たれしは打

續言流昇平
總れ下朝廷の
政務主漸文弱
下流れるは

兵農おのり
ら二ふ分れ古
の徴兵てい
と否と社兵の

姿ふ變り遂ふ
武士と否れ兵
馬の權て一向
ふ其交士と

の棟梁大系者
不帰し世の亂
と共不政治の
大権を天子

不落去凡七百
年間の武家の
政治とて有り
如世の様に移

の棟梁大系者
不帰し世の亂
と共に政治の
大權を天子

不落日凡七百
年間の武家の
政治と天子
如世の様に移

り換わす
能く人
力多
今挽回
一
小
河ら
は
是

いひな
る
且
て家
國體
不
戾
也
且
て我
祖
宗
の
偉
制
不
替
也

り換わす
能く人
力
今換回
下河ら
しき

九

いひ
て我國體
あ且て我祖宗
の降制

奉り淺淵一也
次第有のき降
と下知化嘉永
の頃よ如徳川

の幕府其政表
る刻外國の事
と其起り其
悔を其受る奴

+

一 勢 不 迫 り
い 達 七 朕 の 皇
祖 仁 孝 天 皇 皇
考 孝 明 天 皇 皇

大 之 宸 襟 衣 冠
一 給 正 一 六 之
恭 之 又 惶 焉
此 然 亦 不 朕 幼

之 一 字 天 津 日
嗣 在 受 者 一 初
征 夷 大 將 軍 其
政 權 在 返 上 一

大 名 小 名 其 版
籍 在 奉 還 一 年
在 經 古 一 下 海
内 一 統 の 世 一

古今の制度
不復し如是文
武の忠臣良弼
有り言朕を猶

翼世系功績有
り歴世祖宗の
專蒼生を憐み
給ひし遠澤

有るはといふ
も併家臣民の
其心不順逆の
理を辨る大義

の重なりを
家臣の故不
此れを
此れを
此れを
此れを
此れを
此れを

を更如家國の
光を耀さんと
思ひ此十五年
の程に陸海軍

の制をた今の
様ふ遠空如奴
夫兵馬の大權
を朕の統ふ

所者。既上。其司
之。在。之。其。臣。下
不。元。位。其。子。孔
其。大。綱。之。朕。親

之。在。攬。之。皆。其
臣。下。不。委。奴。人
之。親。其。如。不。可。能
寸。子。之。孫。之。不

至るまで萬々
斯旨を傳へ天
子と文武の大
權を掌握する

の義を存し
再中世以降の
以て失體を
存しんと望

正有女朕之汝
等軍人之大元
帥子家之汝
之朕之汝等之

股肱之賴人汝
等之朕之頭首
之河之其
親之特之深之

ふは海に朕の國
家を保護し
上天の恵ふ應
し祖宗の恩ふ

報ひさるる事
了事を得る事
得る事流る事
軍人の其職を

盡心と盡心
心を不曲に
一一家國の積
威振と心を未

とあらす汝等
能く朕と共憂
を共ふ世よ家
武維揚りて其

榮を耀とて朕
汝等と共譽を
儲ふとて汝
等皆其職を守

の朕と一心
をりて力を國
家の保護に盡
して我國の蒼

生を永く太平
の福を授かる家
國の威烈を大
ふ世界の光輝

とまかなぬ
し朕如く深く
汝等軍人不望
むる所と猶訓

瀟灑一如華
光何如心
之在左不
已

一軍人之忠節
盡忠盡孝
凡生
以家國不棄之

家多姓誰の
國ふ報也家の
心者か家毎
況し人軍人
の

醒人者此心
の國から今も
物の用ふ立
得しと思

これぞ軍人
一人報國の心
堅固な志
と如何程技藝

不熱心
長年流し
人年正
其隊伍

これぞ軍人
一人報國の心
堅固な志
と如何程技藝

不熱し學術不
長き流し精偶
人平正し
泉海し其隊伍

夫慈比節制之
正之と公忠節
之存世と公軍
隊之奉公臨み

丁爲合の衆不
同不家一抑
國家を保護し
國權を維持す

至德以節制之
正之也公忠節
之存也其氣軍
隊之事不臨之

丁爲合の衆不
同か其一抑
國家を保護し
國權を維持す

力不存
兵力の
是國運
長是國
盛衰事
運の消

世論不
難世論
惑其政
狗と只
途不也
本分

の忠節を守る
義と心臓より
重く死と
毛より皮を離し
鳩

二

と覺悟せよ
操を破る
光と取ら
受く
名

九

